

授業科目

解剖生理学実習II

担当教員名 澁谷 顕一	対象学年	1	対象学科	健栄
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

本科目は1回あたり2コマの連続授業である。

後期の解剖生理学実習では、自らの基礎代謝量を測定しながら、エネルギー消費量と肥満や生活習慣病発症との関連性について学習する。さらに、動物を用いて、栄養素の代謝のしくみ、また、過剰栄養摂取にともなう生活習慣病がひきおこされるしくみ等について実験を通じて理解する。その他、人体解剖模型、あるいは、顕微鏡による組織観察を通じて、解剖学的知識を学ぶ。

授業の目的

人体の仕組み（形態と構造）を理解し、人体を構成する器官や器官系が生命・健康の維持とどのように関わっているかを理解することを目的とする。

学習目標

- 1) 運動ならびに食事摂取にともなう生じる生理学的反応・変化を実験を通じて理解する。
- 2) 生活習慣病の成り立ちとしくみを理解する。
- 3) エネルギー消費量の概念や測定方法を理解する。
- 4) 実験レポートの書き方を学ぶ。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	後期ガイダンス	実習	澁谷 顕一
2	デンプンの消化実験/エネルギー消費量測定	実習	澁谷 顕一
3	デンプンの消化実験/エネルギー消費量測定	実習	澁谷 顕一
4	タンパク質の消化実験/血圧測定	実習	澁谷 顕一
5	タンパク質の消化実験/血圧測定	実習	澁谷 顕一
6	動物実験ガイダンス	実習	澁谷 顕一
7	血圧測定に関するレポート指導	実習	澁谷 顕一
8	動物実験I（タンパク質栄養実験）	実習	澁谷 顕一
9	動物実験II（タンパク質栄養実験）	実習	澁谷 顕一
10	動物実験III（タンパク質栄養実験）レポート指導	実習	澁谷 顕一
11	動物実験IV（高脂肪食実験）	実習	澁谷 顕一
12	動物実験V（高脂肪食実験）	実習	澁谷 顕一
13	動物実験VI（高脂肪食実験）レポート指導	実習	澁谷 顕一
14	神経系・感覚器系に関する講義	実習	澁谷 顕一
15	まとめ	実習	澁谷 顕一

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

レポート

履修上の留意点

事故防止のため、服装（白衣、上履の着用）、実験機器の取り扱い等について注意すること。詳細は学期はじめのガイダンスにおいて説明する。

オフィスアワー・連絡先

研究室：G302b。

質問等は随時受け付けます。出張等で不在のこともありますので、できればあらかじめメール（shibuya@nuhw.ac.jp）でアポイントメントを取ってください。